

綜 報 Review

ヨーロッパの博物館

2. フランス

糸魚川 淳二*

Museums in Europe 2. France

Junji ITOIGAWA*

(Abstract)

Forty-six museums in France were visited by the writer in 1974 and 1977 as listed in Table 1 and shown in Fig. 1. Typological classification of them is made as follows;

1. Natural science museum
2. Archaeology, history and ethnology museum
3. Local museum
4. Christian art museum
5. Industrial and decorative arts museum
6. The Resistance museum
7. Other type museum (alpine, cooking, marine, commerce and so on)

Museum activities as collection, exhibition and education etc. are discussed and characteristic of museums in France is summarized.

1. ま え が き

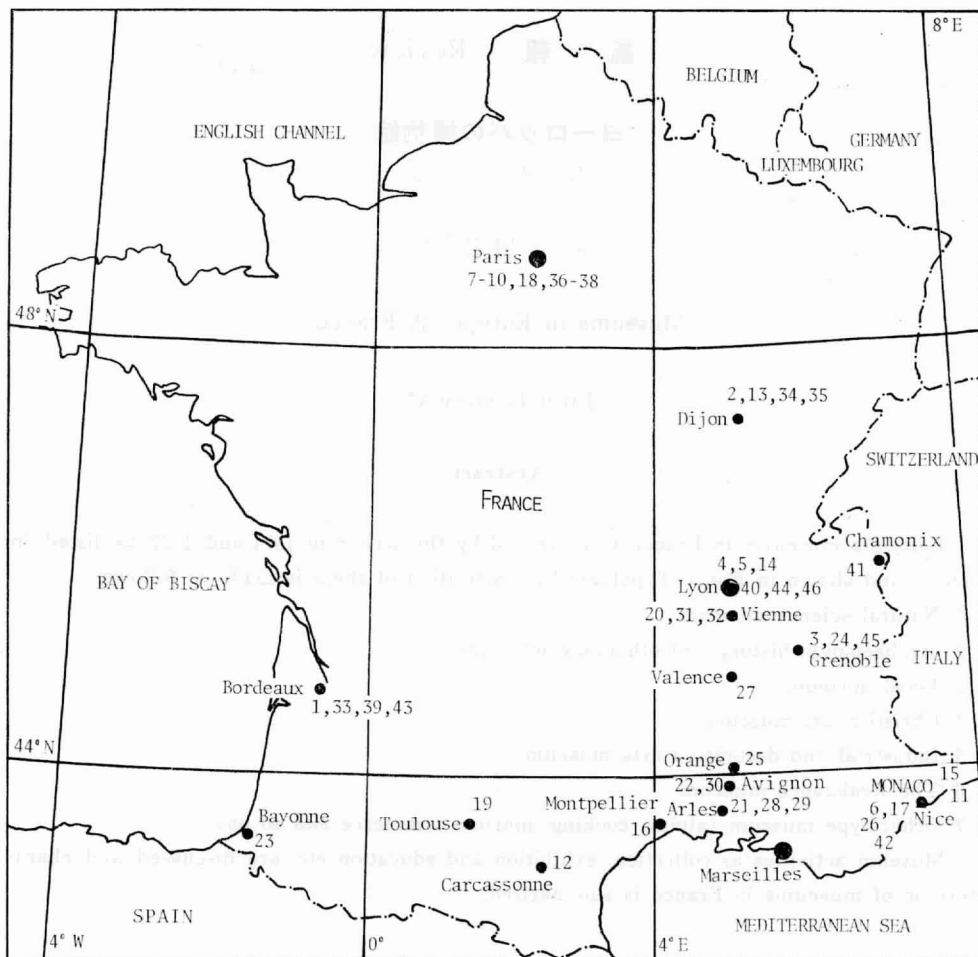
イギリスの博物館についてまとめた前報(糸魚川 1976)につづいて、フランスの博物館を紹介する。イギリスと同様、博物館の数は多く、都市だけでなく、地方の小都市、町や村にまで及んでいる。ただ、イギリスと違って、専門博物館が多い。多くは長い伝統をもち、古い建物の中に、後世へ伝えるべく、多くの資料が所蔵されている。

フランスでは博物館・美術館を含めて、Musée と表現される。ここでは純粋な美術館と考えられるもの(絵画・彫刻を主とする)を除き、工芸・石の彫刻品のものを含めた。1974年8月からの約6ヶ月、1977年8月の2回の滞在中に見学した46館を第1表・第1図に示した。短かい時間での見学であるので詳細について不明なものが多く、また、筆者の専門である自然科学分野のものが多い。Office du Livre 発行の Guide des musées de France を参考にした部分も含まれている。

本稿をまとめるにあたり、海外滞在の機会を支えられた文部省、名古屋大学、多くの便宜をはかられた名古屋大学理学部および地球科学教室の各位に感謝の意を表す。

* 名古屋大学理学部地球科学教室・瑞浪市化石博物館嘱託 Department of Earth Sciences, Nagoya University, Nagoya

1977年10月20日 受理



第1図 博物館位置図 Fig. 1. Location of Museums

2. 専門別に見たフランスの博物館

第1表を一見してわかるように、フランスには、総合博物館がきわめて少ない。イギリスの地方で見られた、“郷土博物館” 式のもの代りに、それぞれの分野の、独立した博物館が存在する。その結果として、博物館の数が多し。例えば、Lyon は人口100万の都市であるが、ここに、美術館も含めてであるが23の Musée があるといわれる。これはフランスの博物館の一つの特徴といえよう。

ここでは、国立、市立、公立といった所属別の分類でなく、専門別分類にしたがって説明する。

a. 自然科学

自然史博物館では Paris にある国立自然史博物館 (Musée national d'histoire naturelle) がまずあげられる。動物学、植物学、昆虫学、生物物理学、比較解剖学、古生物学、古植物学、地質学、鉱物学の各部門をもつ研究博物館で、London の大英自然史博物館に相当する。

コレクションは多く、研究活動も盛んで、フランスにおける自然史分野の研究の一中心となっている。

展示について見ると、各展示館によって異なる。古生物学・比較解剖学館では、多くの骨格標本・液浸標本・解剖模型（比較解剖学）、脊椎動物の骨格・各種の無脊椎動物（古生物学）が展示されているが、展示様式は旧式で、“標本室”的である。ほとんどすべての分野を網羅し、よく集められている。地質学・鉱物学では、鉱物は分類別・地域別、岩石は成因別、化石は時代別・地域別であり、それらがガラスケース中に入れられて展示されている。一部改造中で閉鎖されていたが、展示がえが行われるものと思われる。

古植物学の部門は、広い、長い一室に新形式で展示されているが、基本は分類的展示である。ジオラマによる地質時代の景観の復元、プラスチック封入による現生の葉・実の展示などが見られた。

各地の自然史博物館は多くは市立で、いずれも、Paris の自然史博物館を小型にしたスタイルである。各館とも、主に、分類的に、動物、岩石、化石を展示し、旧式な“標本室”的展示である。典型的な博物館として、Grenoble, Dijon, Bordeaux などのそれがあげられよう。その他の特徴として、地域の資料を集めた展示があることがあげられる。Nice, Grenoble で充実している。

新しい形式あるいは新しいねらいをもった展示は、Lyon の自然史博物館に見られる。「自然保護」の展示がそれで、環境問題を取りあげている。「生活のサイクルと自然のバランス」、「動植物の平衡とその消失」、「環境と自然のバランスの破壊」、「問題解決への道」の順にテーマ展示をしている。写真・イラストが中心であり、この種のテーマのむつかしさを示しているが、今日的な問題を地域の材料を使って示そうとしたところに意欲がうかがわれた。

Nice の自然史博物館では、古生物の展示の主テーマは「進化」と「適応」であり、時代的に、地域の材料を使いながら、このテーマと関連した展示をしている。アンモナイト、馬、象の進化、脊椎動物の適応、脊椎動物の収斂、サメの歯の適応などである。その他にも、走査型電子顕微鏡による花粉、放散虫などの写真も展示されていて、新しい分野・形式での展示を試みている。

フランスの自然史博物館についていえることは、1) 分類を主とした、クラシックな展示（標本室的）、2) 地域の動物・化石・岩石を中心にした展示、3) 植物を含まない所が多い、4) 一部で新しいテーマ・形式の展示が試みられている、などである。

科学・技術に関する博物館として Paris にある Musée national des techniques（技術博物館）がある。イギリスの Science Museum と同様に、科学・技術に関するすべて（自然史をのぞく）を扱っている。大コレクションを持ち、展示はバラエティーにとみ、古いものから新しいものまで、広い分野にわたる。Science Museum と比較して、動くものが少ない、さわられるものが少ないといえよう。全体として、“もの”を見せることに主眼がおかれている。

これに反して、実際にやって見る、動かして見せる博物館が Palais de la découverte（発見宮）であり、Paris の中心にある、Grand Palais の中にある。ここは実験を見せる博物館で、その分野は数学、天文学、地球科学、物理学、化学、生物学、医学と自然科学の広い分野にわたっている。きめられた時間に、各コーナーにおいて実験が行われ、説明される。電気、遺伝の実験・説明を見たが、簡単なことから複雑なことへ、時間をかけて行われていた。地質学のコーナーはその性質上やはり説明的な展示が主であったが、スライド・パネル・ジオラマを使ってわかりやすく計画されていた。館内には若者が多く、いきいきしている。一方において、禁煙などきびしく注意している。

第1表 フランスの博物館

凡例 Legend 国：国立 National, 地：地域 Regional, 専：専門 Special, 綜：綜合 general, technology, 歴：歴史 History, 考：考古 Archeology, 族：民族学 Ethn-山：山岳 Alpinism, 料：料理 Cooking, 海：海事 Marine, 商：商業

種類	名前 name	所在地 Location
自然科学科	1. Musée d'histoire naturelle, Bordeaux	Bordeaux, Jardin publique
	2. Musée d'histoire naturelle, Dijon	Dijon, Jardin botanique
	3. Musée d'histoire naturelle, Grenoble	Grenoble, Jardin des plantes
	4. Musée d'histoire naturelle, Lyon	Lyon, rue Belgique
	5. Musée des hospices civils de Lyon	〃, Hôtel-Dieu 病院内 place de l'hospital
	6. Musée d'histoire naturelle, Nice	Nice, bd. Risso
	7. Musèum national d'histoire naturelle	Paris, Cuvier, 5° 地下鉄 Jussieu
	a. Paléontologie et Anatomie comparée	
	b. Paleobotanique	
	c. Minealogie et géologie	
	8. Musée de l'école supérieure des mines	Paris, bd. Saint-Michel, 6° 地下鉄 Luxembourg, Cluny
9. Musée national des techniques	〃, rue Saint-Martin, 3° 地下鉄 Réaumur-Sébastopol	
10. Palais de la découverte	〃, Grand Palais, 8° 地下鉄 Franklin-Roosevelt	
11. Musée océanographique, Monaco	Monaco, av. Saint-Martin	
考古民族歴史	12. Musée de cite, Carcassonne	Carcassonne, cité
	13. Musée archéologique, Dijon	Dijon, rue Docteur-Maret
	14. Musée historique de Lyon	Lyon, rue Gadagne
	15. Musée municipal Menton	Menton, rue Lorédan-Larchey
	16. Musée (Bureau d'Hygiène), Montpellier	Montpellier, place pétrarque
	17. Musée archeologique, Nice	Nice, villa des Arènes, Cimiez
	18. Musée de l'homme	Paris, Palais de Ch aillot 地下鉄 Trocodéro
	19. Musée des Augustins	Toulouse, rue d'Alsace-Lorraine

Table 1. Museums in France

学：学校 School, 自：自然史 Natural history, 医：医学 Medicine, 科：科学 Science and nology, 宗：宗教 Religion, 工：工芸 Technical art, レ：レジスタンス運動 Resistance, Commerce, 人：偉人 Great man, 遊：遊戯 Play

コレクション・展示	分類	備考（開館時間，休館日，入館料など）
鉱物，地質，古生物，動物；地域の動物・骨格標本など	専・自	14-17.30開館；火曜休館；有料；日曜無料，写真禁止
鉱物，地質，古生物，動物；地域の動物・化石	専・自	14-17；月曜・火曜休館；無料
鉱物，地質，古生物，動物；地域の動物・化石	専・自	月・祭日休館；4月1日～20日，10月11日～31日閉館；無料
鉱物，地質，古生物，動物，昆虫，民俗；環境問題	専・自	14-18；月曜・火曜休館；無料；写真禁止
医療，病院，薬など	専・医	14-17(平日)；10-11.30，14-17(日)；月・祭日休館；1F，日曜無料
鉱物，地質，古生物，動物，植物；進化適応が主テーマ	専・自	9-12，14-18；火曜・祭日休館；3F，学生・小人半額
	国・専・自	
古生物，比較解剖標本（骨格・液浸標本など）		いずれも13.30-17(平日)，10.30-17(日曜)；火曜・祭日休館
植物化石；新展示で分類の		いずれも2F，日曜無料；大コレクションをもつ研究博物館；この他に動物展示館・植物園がある
鉱物(分類・地域別)，岩石(成因別)，化石(時代・分類別)		
鉱物，岩石	専・自・学	14.30-17(火一金)，15-17.30(土)；日・月・祭日休館，夏・冬に閉館あり；無料
科学・技術のすべて(自然史をのぞく)；大コレクション	国・専・科	13.30-17.30(平日)，10-17(日)；月曜祭日休館；2F，日曜無料
自然科学の実験を見せる博物館；プラネタリウムがある	専・科	10-18；月曜休館；5F
海洋学・海洋生物学のすべて；水族館を併設	国・専・自	9.30-19(10.1-6.15)，9-19(6.16-9.30)；10F；専門研究博でもある
歴史資料，とくに12-13世紀のキリスト教関係，古城の中にある	専・歴	5F
考古，歴史(ガロローマンなど)古い教会にある	専・歴・考	9-12,14-17；火曜，クリスマス，新年休館；1F，写真禁止
リヨンの歴史に関係ある資料	専・歴	10-12,14-18；火曜休館；無料
地域の考古資料；美術館と同居	専・考	9-12,14-18(冬)，9-12,15-19(夏)；月・火曜・祭日休館；無料
地域の考古，歴史資料	専・考・歴	無料
考古・歴史資料，マチス美術館と同居	専・考・歴	14-17(冬)，10-12，14-19(夏)10月-6月の月曜休館，2F
人類・民族資料；世界的資料	専・族	10-17；火曜・祭日休館3F；日曜無料
ローマン資料；美術館と同居；古い修道院の建物にある	専・歴	10-12，14-17(夏は18まで)；火曜休館；1F

	20. Musée des Beaux-arts et d'archéologique Vienne	Vienne, place de Miremont
地 域	21. Musée Arlésien	Arles, rue de la République
	22. Musée Calvet	Avignon, rue Joseph-Vernet
	23. Musée Basque	Bayonne, rue Marengo
	24. Musée dauphinois	Grenoble, rue Gignoux
	25. Musée Orange	Orange, place de Frères-Mounet
	26. Musée provençal	St. Paul
	27. Musée Valence	Valence, place des Ormeaux
キ リ ス ト 教	28. Musée lapidaire d'art Païen	Arles, place de la République
	29. Musée lapidaire d'art chrétien	" , rue Balze
	30. Musée lapidaire, Avignon	Avignon, rue de la République
	31. Musée lapidaire romain, Vienne	Vienne, Saint-Pierre 教会
	32. Musée d'art chrétien, Vienne	Vienne, Saint-Andre-le-Bas 教会
工 芸	33. Musée des arts décoratifs, Bordeaux	Bordeaux, rue Bouffard
	34. Musée historique des tissus, Lyon	Lyon, rue de la Charité
	35. Musée lyonnais des arts décoratifs	" , rue de la Charité
	36. Musée de Cluny	Paris, place Paul-Painlevé, 5 ^e 地下鉄 Odeon, Saint-Michel
	37. Musée des arts décoratifs, Paris	" , rue de Rivoli, 1 ^e 地下鉄 Pyramide, Palas Royal
	38. Musée Cognacq-Jay	" , bd. des Capucines, 2 ^e 地下鉄 Opera
レン ジス 運 動	39. Musée Jean Moulin	Bordeaux, rue des Frères-Bonie
	40. Musée de la Résistance, Lyon	Lyon, rue Boileau
そ の 他	41. Musée alpin, Chamonix	Chamonix, av. de la Gare
	42. Musée de l'art Culinaire	Villeneuve-Loubet
	43. Musée de la marine, Bordeaux	Bordeaux, place de la Bourse
	44. Musée de l'imprimerie et de le banque	Lyon, rue de la Poulallerie, 2 ^e
	45. Musée Stendhal	Grenoble, Jardin de la ville
	46. Musée de la marionette, Lyon	Lyon, rue de Gadagne

考古-歴史(とくに地域)資料 絵画も含む	専・考・歴	9-12, 14.30-18.30(4.1-10.15), 10-12, 14-16(10.16-3.31); 火曜休館; 1.5F
民俗, 工芸, 絵画	綜・地	9-12, 14-16(夏は18まで); 冬期月曜休館; 3F
工芸, 彫刻, 絵画, 考古	綜・地	9-12, 14-17(夏は18まで); 1F; 日曜無料
民俗, 民芸, 海事, 工芸, 軍事, キリス ト教関係など	綜・地	10-12, 14.30-17.30(冬), 9.30-12.30, 14.30-18.30(夏); 日・祭日休館; 2F
地方の歴史, 民俗, 自然; 古い建物にあ る; 郷土的	綜・地	14-18, 火・水曜休館; 1F, 日曜無料
ローマン資料-歴史資料; 郷土資料を含 む	地	8-12, 14-17(夏は18まで); 1F
生活品・住居の展示	地	2F
自然史(地質・動物), 工芸, 歴史, 美術	綜・地	9-11.45, 14-17.45; 祭日休館; 2F
キリスト教石造品・工芸品 古い教会にある	専・宗	9-12, 14-16(冬), 8.30-12, 14-19(夏); 2F
キリスト教石造品; 古い教会にある	専・宗	9-12, 14-16(冬), 8.30-12, 14-19(夏)
キリスト教石造品・工芸品 古い教会にある	専・宗	9-12, 14-18(冬は17まで); 火曜休館
ローマ時代のキリスト教石造品 古い教会にある	専・宗	10-12, 14-16(冬), 9-12, 14.30-18.30(夏); 火曜休館; 1.5F
キリスト教石造品; 古い教会にある	専・宗	10-12, 14-16(冬), 9-12, 14.30-18.30(夏); 火曜休館; 1.5F
工芸に関するすべて	専・工	14-18; 火曜休館; 日曜無料
織物についてのコレクション; 世界的資 料	専・工	10-12, 14-17; 月曜・火曜午前・祭日休館; 下記と共通で5F, 日曜半額
工芸に関する一切; 種類多い	専・工	上に同じ
工芸; タピストリーが有名; 古い建物に ある	国・専・工	9.45-12.45, 14-17.15; 火曜休館; 5F; 日曜無料
工芸に関するすべて; 大コレクション	専・工	10-12, 14-17; 火曜・祭日休館 5F, 日曜無料
工芸品; 古い建物に展示	専・工	10-18; 月・火曜・祭日休館; 2F
レジスタンス運動; ジャン・ムーラン資料	専・レ	14-18; 日曜・月曜休館; 無料
レジスタンス運動, とくにリヨン地域	専・レ	14-18; 無料
民俗, 工芸品; アルピニズムの歴史 絵画; 岩石	山	14-19; 3F
料理に関する資料とくにメニュー	専・料	14-18; 月曜休館; 11月閉館; 2F
海事資料	専・海	10-12, 15-17; 日曜・月曜休館; 2F
印刷資料, 商業	専・商	9.30-12, 3-6; 月曜・火曜休館; 無料
スタンダールに関する資料	専・人	2-6; 月曜・祭日休館; 無料
人形とくにあやつり人形, リヨンのあや つり人形の歴史	専・遊	10-12, 14-18; 火曜休館; 無料

1937年に設立されたこの博物館はプラネタリウムを持ち、実験・講義の他に、講演会、映画会、特別展などを開催している。また、他の博物館との共同企画、学校への協力、月刊雑誌他の出版物の発行などの活動を行っている。館内の図書館、フィルム図書館も一般に公開されているし、売店では多種・多様の標本・図書が販売されている。入館者は年間50万人といわれ、学校の団体が多く、毎年15000の講義・授業が行われている。一般にいう博物館とは少し性質が異なるが、ユニークな施設といえる。

その他、Musée des hospices civils de Lyon は病院の中にあり、12世紀以来のリヨン市立病院の歴史を中心に、医療と病院に関する博物館である。病院の記録、医療器具、薬びんなど、よいコレクションを持っている。展示は素直で、特別な技巧をこらしてないが、ひきつけるものがある。パリ高等高山学校付属の博物館は学校付属博物館の典型である。学校の長い歴史の中で集められた岩石・鉱物標本を一般に公開しているもので、標本室をそのまま見せるものである。扉はしめてあり、ベルを押して入館するシステムになっているのも当然のことと思われる。

フランス国内の一角を占める小国モナコには有名な海洋博物館がある。皇太子アルベール一世により1910年に創設された海洋学・海洋生物学に関する博物館で、水族館を併設する。展示による一般への公開の他、研究を活潑に行っている。一方において、観光立国のモナコだけあって、観光的な一面も持っている。年中無休、入館料も割合高く(10F)、各種出版物、標本、土産物の販売がさかんである。

b. 考古学・歴史・民族学

考古・歴史に関しては、地域の資料を展示する例が多い。両者がしばしば一体となっている。また、美術との共存も多く、せまい意味の地域博物館をつくっている。Dijonの考古学博物館は古い教会の建物の中にあり、地階は gallo-romaine の石の彫刻、1階は13世紀の石の彫刻で、2階には先史時代からローマ・ゴシック・ルネッサンス時代にいたる各種の遺物が陳列されている。展示は新しいが、オーソドックスで、自然である。Lyonの歴史博物館はやはり古い建物の中にあり、ローマ時代の石の彫刻をはじめとして、リヨンの歴史を物語る各種の資料が集められている。家具・陶器・古文書にまで及ぶ展示はクラシックで、古いケースにおさまられ、細かい字でラベルが書いてある。

人類学、民族学の博物館として Paris の人類学博物館がある。人類学より民族学の資料が中心で、全世界の各地に及び、とくにアフリカが充実している。地域別の展示にはとくに特徴がないが、素材のもつ地域の特性があらわれていて興味深い。テレビを利用した展示があるが、展示の今後の方向を示すものとして注目される。

このジャンルの博物館では、地域を中心とした資料を、時代別、分類別に展示したものが多く、歴史的な建造物が利用されていることも多いといえるだろう。

c. 地域博物館

イギリスの各地方の市・町・村に多く見られた博物館であるが、フランスではむしろ数は少ない。地域の資料を集めて展示するもので、自然史・考古・歴史・美術と多岐にわたる。形式はそれぞれの館により異なる。いくつかの例をあげる。

Grenoble の Musée dauphinois は古い修道院の建物の中にあり、地下はかつての礼拝堂で、そのまま展示品となっている。建物とは反対に博物館自身は1968年に、ここで開かれた冬季オリンピックを記念して開館されたもので新しい。展示は新形式で、大きく3つに分かれて

いる。すなわち、

1. 地史を含めたこの地方の歴史の変遷
2. 民俗品などを中心とした生活の歴史
3. 灯と火の歴史

である。

いずれの展示も十分考えられ設計されていて、興味深い。とくに、灯と火の歴史は特別展としてつくられたものがそのまま常設となったようなもので、解説のテープと照明を同調させた展示、スライドとテープを使った展示など注目された。この他、特別展としてセリグラフ（版画の一種）展をやっており、地域に密接した幅広い活動を思わせた。地域博物館として、将来の方向を示す博物館といえよう。

Valence にある Musée Valence は自然史から歴史、工芸、美術まで含み、本来のスタイルの地域総合博物館である。地域の材料を中心としているが、一方において国内・国外の資料も集めている。展示はオーソドックスで素朴である。イギリスの地域博物館と共通するものを持っている。専門博物館に分れていないのは人口約 65000人という町のスケールによるのかもしれない。

南仏の観光地 St. Paul の Musée provençal は別のタイプの郷土博物館である。16世紀の建物の中に、同時代の生活様式を復元展示してある。作業場、ワインの貯蔵庫、居間、寝室、台所、物置と続き、生活がそのまま残っている感じである。とくに物置はいわゆる展示のイメージからはなれているが、自然に物を見せることのよさを示している。

d. キリスト教博物館

南フランスの各地で見たが、古い教会あるいは修道院の建物の中に、古い時代のキリスト教に関係ある美術品・工芸品が展示してある。主に石（大理石を含む）の彫刻品、モザイク、石棺、陶器などで、そのスタイルは各館共通している。第一に建物がすばらしく、そのもの自身が展示である。Arles, Vienne などに、よく似た博物館がそれぞれ2つあるが、まず建物があり、それに伴う各種の資料があることがその理由と思われる。いずれもよい宗教的なふん囲気をもっている。キリスト教の古い歴史を思わせる博物館である。全国的に見て少なくないと思われる。

e. 工芸博物館

美術館に近い博物館である。ただ、絵画・彫刻を含まず、工芸品が中心である。多くは古い建物が使用されている。典型的な、しかも規模の大きいものは Paris の Musée des arts décoratifs で、中世から20世紀まで、装飾・工芸に関するあらゆるものを集めている。家具・タピストリー・ガラス・陶器をはじめ、各種の小物にいたるまで、よいコレクションがある。もちろん、フランスだけでなく、ヨーロッパはもとより、東洋のものにまで及び、日本の、いい装飾品が展示されている。展示室は多くの、小さい独立した部屋からなり、時代別・分類別の展示がなされている。

これに類して小規模なものが Lyon, Bordeaux に見られる。Lyon の Musée lyonnais des arts décoratifs は商工会議所に所属し、Paris のそれと同様、装飾に関する各種の資料を展示する。古い建物で、やはり、いくつかの小部屋にわかれていて、その各部屋に各種の調度品を配したものが多く、台所の復元など興味深い。フランスでは珍らしくよいガイドブックと絵はがきがある。

Lyon の Musée de tissage はやはり商工会議所に属し、M. lyonnais des arts décoratifs と共通入場券をもつ。絹織物の産地として有名な Lyon を特徴づける博物館で、コレクションは世界的といわれる。ヨーロッパ、エジプト、ペルシャ、東洋の各地の織物が各地域・時代別に展示されている。吹き抜けの大広間にかざられたタピストリーの展示は、材料がよければ、何の細工もいらぬことを示すよい例である。この2つの博物館はもっともフランス的な博物館といえるだろう。専門博物館であり、材料もふさわしく、かつ規模が適正で見やすい。

Musée Cluny は美術館と呼んだ方がよいかも知れないが、ここに所蔵され展示されている16世紀までの装飾美術品はすばらしい。建物自身が15世紀のもので、最初は個人のコレクションの展示であったが、現在は国立である。家具、木彫品、陶器、織物、金属器など、展示品も逸品ぞろいで、建物にふさわしい。よい“いれもの”により“もの”を展示した、博物館の原型ともいえるものである。

f. レジスタンス博物館

第二次世界大戦の際のレジスタンス運動を記念してつくられた博物館である。Lyon, Bordeaux で見たが、この他、Grenoble, Chamonix などにある。両館ともレジスタンス運動の各種資料、捕虜収容所における遺品などを展示してある。特に写真を使ったパネルが多いが、特殊な主題として材料がえにくいこともあり、やむを得ないことと思われる。レジスタンス運動はこの国の人々にとって誇りであり、それを記念してつくられた博物館であるが、同時に、戦争のきずあとの大きいことを改めて認識させる上で大きい意味を持っている。

g. その他の博物館

専門博物館が多いことは、同時に各種各様の博物館があることであり、いままで述べてきた分類の中に入らないものが多くある。それらはユニークな主題をもつ博物館である。いくつかを例として示す。

Musée de l'art culinaire は料理に関する博物館である。有名な料理長 Escoffier を記念して1966年に開館した。コレクションは彼に関する記念物、料理に関する道具・設備などの一切、さらに世界各地のメニューなどである。メニューのコレクションは膨大なもので驚かされる。

Lyon にある Musée de l'imprimerie et de la banque, Musée de la marionette はそれぞれ特色のあるもので、前者は商業都市 Lyon の商業活動に関する博物館で、印刷史、印刷物、印刷技術、銀行などをテーマにしている。地味であるが奥の深い展示であり、興味深い。後者は Lyon におけるあやつり人形の長い歴史を反映したもので、あやつりをはじめ、各種の人形を世界的にあつめてある。現在まで保存されて、小劇場で公演されるあやつり人形劇とマッチした博物館である。

Musée de la marine は海事博物館で、これは各地で見られる。航海・船・港などに関するものである。偉人についての博物館も多い。たまたま Grenoble で Stendhal のそれを見たが、歴史家・音楽家・科学者・発明家・小説家など、同類のものが多く見られる。各人の資料を集めたものである。

3. フランスの博物館の特徴

以上に述べてきたことを含めて、フランスの博物館の特徴をまとめると次のようになる。

- a. “古いよい建物”の中に、“いいもの”を収蔵し・展示すること、これが博物館の原型である。“いいもの”は当然保存し、それを見せることが義務であるという姿勢がそこにある。それだから、観覧者があるかないか、多いか少ないかはあまり問題にならない。
- b. 専門博物館が多く、総合博物館が少ない。おのずと博物館の数は多い。
- c. 地方では地域中心の館が多く、一般に規模が適正である。
- d. 個人コレクションから発足したものがあり、また、その寄付、購入による資料が多い。
- e. 一部を除いて古い形式の展示が多い。陳列棚に入れ、ラベルをつけるオーソドックスな方法が主である。新しい形式の展示は少ないが、テーマの選定がよく、よく考えてつくられており、高いレベルにある。
- f. パンフレットなどの資料は一般に少ない。しかし、他語国（英・独など）のものが用意されていることもある。各市・町などの案内パンフレットには必ず博物館が記されている。Parisには毎月発行の案内（Musées expositions monuments de Paris）がある。
- g. 入館料は日曜日無料のことが多い。
- h. 開館時間は夏と冬でことなる所があり、毎日でない館、午後だけの館もある。一般に、昼休みのある所が多い。
- i. 特別展は一部を除いて少ない。
- j. ガードは多く、写真禁止の館がある。

フランスでの博物館の歴史は古く、その伝統は現在も続いている。“よいもの”を保存し、見せるという基本的な姿勢は今後も変わらないと思われる。

なお、フランス各地の博物館資料のリストを本研究報告（p. 179, 180）に資料として掲載した。また、「科学と実験」誌に1976年4月より“ヨーロッパの小さい博物館”を連載中であるので参照されたい。

参 考 文 献

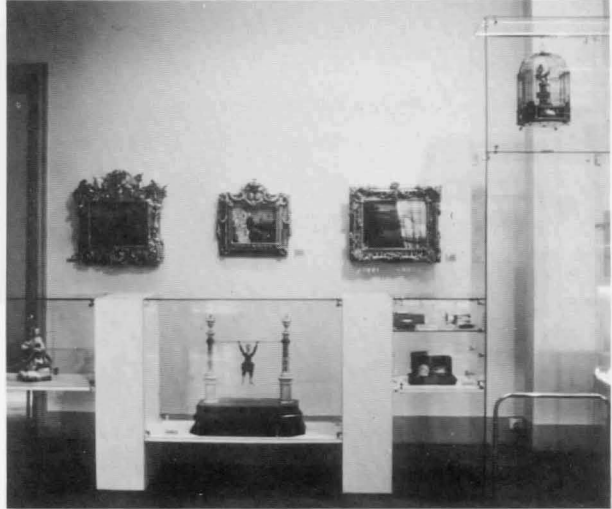
- 糸魚川淳二（1976）、個性豊かなヨーロッパの博物館。科学朝日、36(3)、88—94。
 ———（1976）、ヨーロッパの小さい博物館、リヨンの博物館—1。科学と実験、27(5)、402—403。
 ———（1976）、同上、パリ高等鉱山学校の博物館。同上、27(10)、852—853。
 ———（1976）、ヨーロッパの博物館 1。イギリス。瑞浪市化石博物館報告、no. 3、213—225。
 ———（1977）、ヨーロッパの小さい博物館、グルノーブルの博物館。科学と実験、28(1)、62—63。
 ———（1977）、同上、ビエンヌの博物館。同上、28(2)、118—119。
 ———（1977）、同上、リヨンの博物館—2。同上、28(6)、500—501。
 ———（1977）、同上、南フランスの博物館。同上、28(8)、670—671。
 木村陽二郎（1976）、パリ自然誌博物館再訪。自然、31(3)、61—71。
 Office du Livre（1970）、Guide des musées de France. 219 p., Paris。
 棚橋源太郎（1947）、世界の博物館。216 p., 講談社。

Plate 35

- Fig. 1. Musée d'histoire naturelle, Lyon (リヨン自然史博物館) 外観
- Fig. 2. 同上平面図
- Fig. 3. Musée national des techniques (技術博物館, Paris) のからくり人形の展示
- Fig. 4. Musée d'histoire naturelle, Bordeaux (ボルドー自然史博物館) パンフレット
- Fig. 5. Musée d'histoire naturelle, Grenoble (グルノーブル自然史博物館) の展示室内部



1

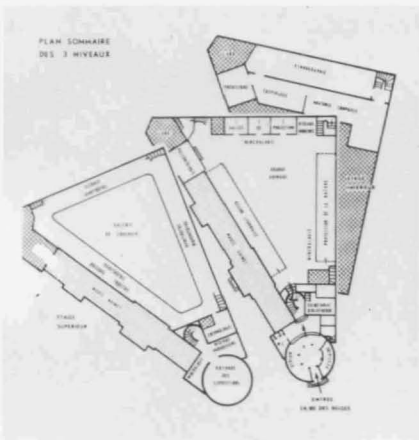


3



4

2



5



Fig. 1. Muséum national d'histoire naturelle, Paléontologie et Anatomie comparée

(国立自然史博物館古生物学・比較解剖学館) 外観

Fig. 2. Musée des hospices civils de Lyon (リヨン医療博物館) の内部

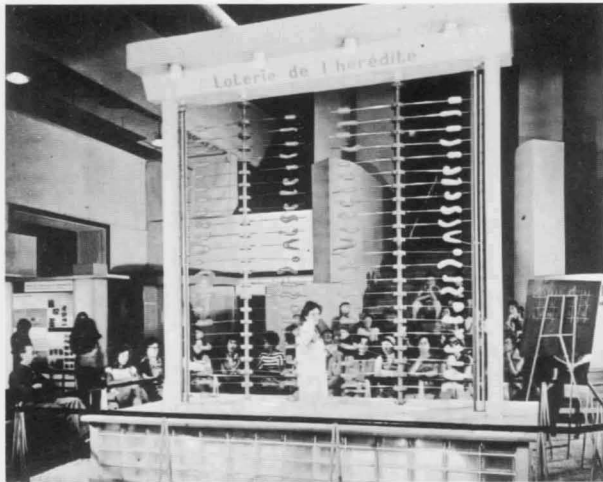
Fig. 3. Palais de la découverte (発見宮, Paris) の遺伝の説明

Fig. 4. 同上, 地質学のコーナーの恐竜の足跡の展示

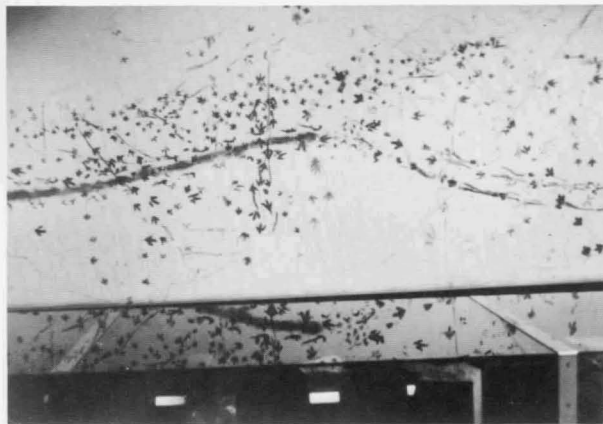
Fig. 5. Musée océanographique, Monaco (モナコ海洋博物館) の内部



1



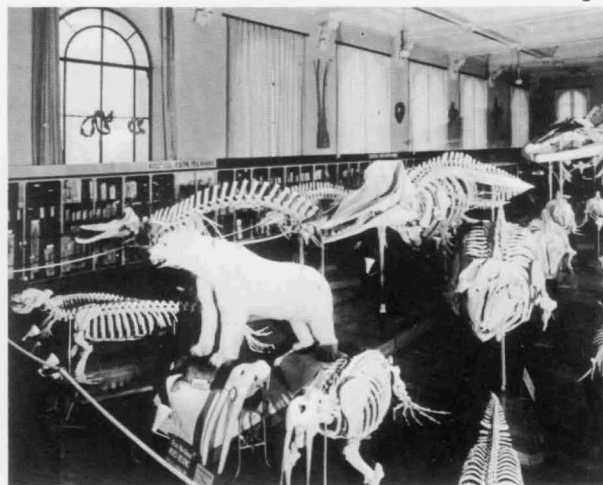
3



4



2



5

Plate 37

Fig. 1. Musée archéologique, Dijon (ディジョン考古学博物館) のパンフレット

Fig. 2. Musée de la marionette, Lyon (リヨン人形博物館) 展示

Fig. 3. Orange (オランジュ) の町の案内パンフレット

Fig. 4. Musée dauphinois (ドゥフィース博物館, Grenoble) の外観

Fig. 5. Musée d'art chrétien, Vienne (キリスト美術博物館) の内庭

Fig. 6. Musée provençal (プロバンス博物館, St. Paul) の物置の展示

Plate 38

Fig. 1. Musée lapidaire, Avignon (アビニオンのキリスト教博物館) の内部

Fig. 2. Musée de Cluny (クリュニー博物館) のパンフレット

Fig. 3. Musée lyonnais des arts decoratifs (リヨン装飾博物館) の展示

Fig. 4. Musée des arts decoratifs (装飾博物館, Paris) の外観

Fig. 5. Musée lyonnais des arts decoratifs のパンフレット



1

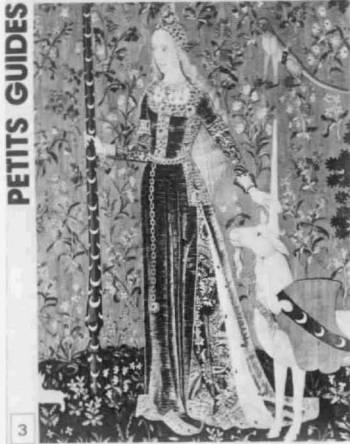


3



4

DES GRANDS MUSEES 2



3

musée
des thermes
et de l'hôtel
de cluny



5

*L'hôtel de Cluny-Land,
et son jardin le Musée des arts décoratifs
de la Chambre de commerce de Lyon.*

Plate 39

Fig. 1. Musée alpin, Chamonix (シャモニー山岳博物館) のパンフレット

Fig. 2. Paris の博物館案内パンフレット

Fig. 3. Musée de la résistance, Lyon (リヨンのレジスタンス博物館) 外観

Fig. 4. Musée de l'art culinaire (料理博物館) のパンフレット

Fig. 5. Vienne の町の案内パンフレット

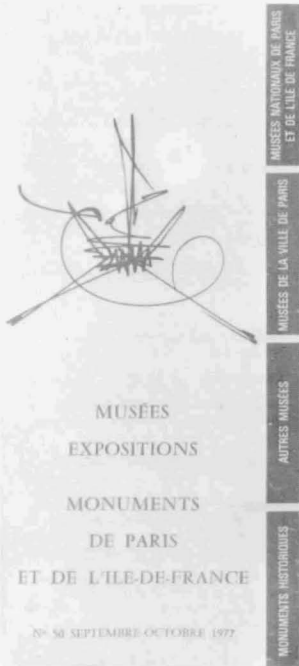


1



3

2



4



5

